

＜おかめ「納豆サイエンスラボ」第2回メディアセミナーレポート＞

「S-903 納豆菌」にノロウイルス感染予防への可能性を発見 「S-903 納豆菌」による感染症予防効果の最新研究を報告

おかめ「納豆サイエンスラボ」は、2017年11月14日（火）に TRUNK BY SHOTO GALLERY（東京・渋谷）にて、おかめ「納豆サイエンスラボ」第2回メディアセミナー『S-903 納豆菌』による感染症予防効果の最新研究発表会』を開催いたしました。

納豆づくりに欠かせない「納豆菌」には、納豆の風味(味、におい、豆のやわらかさ・かたさ、ねばり)や、納豆の栄養と健康作用に違いがあることがこれまでの研究で明らかになっており、中でも「S-903 納豆菌」は、通常の納豆菌以上に免疫力を高める作用や、インフルエンザウイルスへの予防効果が確認され注目されています。

発表会当日は、最新の研究結果として、中部大学工学部客員教授の林京子先生より「S-903 納豆菌」のノロウイルス感染予防、およびライノウイルス感染予防に関する実験結果について報告いただきました。さらに、タカノフーズ株式会社小林知世研究員より「S-903 納豆菌」の基本データ及びインフルエンザウイルスの予防効果についてご説明させていただき、その後、管理栄養士の浅野まみこ先生に開発いただいた、「冬に負けない！免疫力アップの健康納豆レシピ」を実際に試食いただきました。

※S-903 納豆菌：免疫機能性（IL-12 誘導能）が従来菌と比較して 1.5 倍高値を示した納豆菌

講演「S-903 納豆菌の最新研究結果報告 -ノロウイルス感染予防への可能性」 林 京子先生（中部大学 工学部 客員教授、薬学博士）



現代社会において免疫力が重要な理由と今年流行のウイルス感染症についての傾向をご説明いただいた上で、納豆菌の最新研究結果として、ワクチンや治療薬がない「ノロウイルス」と「ライノウイルス（大人風邪）」に対する「S-903 納豆菌」の予防効果を解説いただきました。

「現代では高齢化やストレスの多彩化、生活習慣病や癌患者の増加などから、人々の免疫機能低下が見て取れます。今年早期の流行がみられるインフルエンザや大人にも拡大している感染性胃腸炎などに感染した場合、重症化リスクが高まっているとも言えます。だからこそ免疫力を高めることが重要です。今回行った「S-903 納豆菌」のマウス実験では、ノロウイルスのウイルス増殖を抑えることがわかり、ノロウイルスの発症予防と感染症状の緩和が期待できます。さらに、「S-903 納豆菌」によって、大人風邪の原因であるライノウイルスに対し、感染力を中和する働きを持つ抗体価が高まったことから、大人風邪の発症予防と感染後の症状軽減に効果が期待できます。」とご講演いただきました。

講演「S-903 納豆菌の基本データについて - インフルエンザ予防・アレルギー抑制効果の可能性」

小林 知世氏（タカノフーズ株式会社 納豆研究開発 研究員）



小林研究員よりタカノフーズ株式会社による納豆菌の研究や、“S-903 納豆菌”、さらにその研究成果についてご説明いただきました。

「従来の納豆よりも柔らかさや、甘み、旨みなどを生み出す納豆菌を研究し、商品の美味しさに繋げています。当社では現在約 2200 株の納豆菌を保有し、このうち免疫に対する高い機能性を持つ納豆菌株の選抜を行い、“S-903 納豆菌”の発見に至りました。」とご紹介いただきました。

研究成果については、「“S-903 納豆菌”の摂取による花粉症の症状緩和とインフルエンザ予防効果が期待でき、さらに今回、“乳酸菌のみより、S-903 納豆菌を併用して摂取する方が、抗インフルエンザ効果を高める”ことが明らかになりました。今後も新たな健康効果の研究を進める予定です。」とお話いただきました。

VTR 講演 「冬に負けない！免疫力アップの健康納豆レシピ」

浅野 まみこ先生（管理栄養士）



「浅野まみこ先生に開発いただいた全 5 品」



「セミナーでご試食いただいたお料理」

最後に、管理栄養士の浅野まみこ先生に監修いただいた 5 品の『冬に負けない！免疫力アップの健康納豆レシピ』について、「“S-903 納豆菌”を使用した納豆と、さらに冬に負けない栄養素が入った食材を合わせました。納豆に発酵食品、食物繊維、アリシンなどを合わせた免疫力アップのレシピです。」と、VTR でご紹介いただきました。

その後、実際に健康納豆レシピの試食会が行われました。それぞれの料理で納豆が存分に活かされており、その美味しさに会場は大盛況で幕を閉じました。